

平成26年度当初予算 施策 取組概要

**154 大気・水環境の保全**

(主担当部局：環境生活部)

- 15401 大気・水環境への負荷の削減 (環境生活部)
- 15402 自動車環境対策の推進 (環境生活部)
- 15403 生活排水対策の推進 (環境生活部)
- 15404 伊勢湾の再生 (環境生活部)
- 15405 環境保全のための調査研究の推進 (環境生活部)

**県民の皆さんとめざす姿**

自動車排出ガスや生活排水など身近な暮らしの環境問題に対する意識が高まり、県民の皆さんやさまざまな主体が協力して大気や水環境の保全に積極的に取り組んでいます。

また、大気や河川、海域の環境基準が達成され、県民の皆さんが良好な大気・水環境のもとで、健康的な生活を営んでいます。

**平成27年度末での到達目標**

県民や事業者の皆さんによる、自動車排出ガスによる局地的な大気汚染の解消への取組が進み、大気環境測定地点における大気環境基準が達成されるとともに、生活排水処理アクションプログラムの目標の達成等により、河川や海域における水質が維持または改善しています。

また、地域において森・川・海のつながりを意識しながら、さまざまな主体による連携した取組が活発に行われるようになっていきます。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
大気環境および水環境に係る環境基準の達成率	76.7%	93.9%	95.0%		96.0%	97.0%
		92.9%				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	大気環境測定地点および河川・海域水域における環境基準の達成割合					
26年度目標値の考え方	全地点および全水域で環境基準を達成することを前提とし、一部の環境基準の達成が著しく困難な水域については、水質改善を図ることとして目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
15401 大気・水環境への負荷の削減 (環境生活部)	大気・水質の排出基準適合率	99.2%	100%	100%		100%	100%
			99.3%				

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達 成状況	目標値 実績値	目標値 実績値
15402 自動車環境対策の推進（環境生活部）	NOx・PM法対策地域内の大気環境基準達成率		100%	100%		100%	100%
		60.0%	100%				
15403 生活排水対策の推進（環境生活部）	生活排水処理施設の整備率		78.8% (23年度)	79.7% (24年度)		80.5% (25年度)	81.4% (26年度)
		78.0% (22年度)	79.1% (23年度)				
15404 伊勢湾の再生（環境生活部）	水環境の保全活動に参加した県民の数		19,000人	24,500人		25,500人	26,500人
		16,475人	23,834人				
15405 環境保全のための調査研究の推進（環境生活部）	調査研究成果件数		4件	4件		4件	4件
		3件	4件				

### 進捗状況（現状と課題）

- 工場・事業場に対する立入検査により、排出基準や総量規制基準の遵守を徹底し、大気環境及び河川・海域等の水質保全を図っています。県内の大気環境は、おおむね良好な状態に保たれていますが、微小粒子状物質（以下、PM2.5という。）の常時監視体制を整えるため、残る1測定局の整備を進めているところです。また、伊勢湾の水質環境基準の達成率（COD）が56%（平成24年度）と低い状況にあることから、さらなる汚濁負荷の削減が必要です。
- 平成32年度までにNOx・PM法対策地域内の全域で二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気環境基準を確保するため、平成25年3月に策定した三重県NOx・PM総量削減計画に基づき、実状に応じた流入車対策の具体策を流入車対策検討会議（構成委員；三重県トラック協会、四日市市等10名）で検討してきましたが、現在の二酸化窒素の環境基準の達成状況や今後の環境基準の達成見込み等を踏まえ、流入車対策の実施を延期することとしました。
- 海域における陸域からの汚濁負荷の主要因の一つである生活排水については、処理施設の整備率が平成24年度末で79.5%まで進捗しましたが、目標値(79.7%)には達せず、また、全国平均(88.1%)と比較しても未だ低い状況にあり、単独処理浄化槽や汲み取り世帯が多く残されています。
- 伊勢湾の貧酸素水塊等の対策に係る調査研究を三重大学など研究機関と連携し進めているところですが、長期間の調査研究が必要です。
- 海岸漂着物対策については、国の平成24年度補正予算で措置された「海岸漂着物地域対策推進事業」を活用し、県内の海岸漂着物の回収・処理及び発生抑制対策を進めています。また、発生抑制対策においては、広域的な取組が必要であることから、東海三県一市の海岸漂着物対策検討会において、本県がリーダーシップを取り、発生抑制等の取組を進めているところです。
- 水環境の保全に向けては、民間団体等によるボランティア活動が非常に重要であることから、県民、民間団体、企業などさまざまな主体の参画による「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を進めているところですが、参加者数の拡大を図る必要があります。

- ・ 環境保全のための調査研究については、微小粒子状物質の調査や閉鎖性水域である伊勢湾の水質改善など、行政課題を踏まえた調査研究を行っており、今後も環境基準の新たな指標や項目の追加などが見込まれることから、研究課題を的確に捉え、着実に成果を積み上げていく必要があります。

## 平成 26 年度の取組方向

### 環境生活部

- ・ 大気環境や公共用水域の水質を保全するため、工場・事業場の重点的・計画的な立入検査により、排出基準等の遵守の徹底を図るとともに、第7次総量削減計画に基づき伊勢湾の汚濁負荷の削減を進めます。また、PM2.5については、三重県の常時監視体制がほぼ整うことから、迅速な情報提供に努めます。
- ・ NO<sub>x</sub>・PM法対策地域内における二酸化窒素や浮遊粒子状物質の削減状況を調査することで、計画の進行管理を行っていきます。
- ・ 生活排水処理未普及人口の解消に向け、生活排水処理アクションプログラムに基づき、市町及び関係部と連携し、処理施設の効率的・効果的な整備を進めます。
- ・ 伊勢湾における貧酸素水塊等の対策について、引き続き三重大学など研究機関と連携し、貧酸素発生時の底質等の調査を実施します。
- ・ 海岸漂着物対策については、国の「海岸漂着物地域対策推進事業」等を活用した漂着物等の回収・処理及び発生抑制対策事業を引き続き進めます。
- ・ 東海三県一市の海岸漂着物対策検討会においては、引き続き本県がリーダーシップを取り、国の「海岸漂着物地域対策推進事業」を活用した発生抑制対策等の取組を進めます。
- ・ 「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」については、民間団体、企業等と連携しながら、参加者数の拡大を図ります。
- ・ 微小粒子状物質対策や伊勢湾の水質改善など、大気・水環境の課題に対応した調査研究を行い、得られた成果を施策への展開につなげるとともに、年報・学会発表等を通じた情報発信を行います。また、技術情報の収集等により技術力の維持・向上に努めます。

## 主な事業

### 環境生活部

#### ●工場・事業場大気規制事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】

予算額：(25) 12,140千円 → (26) 10,428千円

事業概要：工場・事業場へ立入検査を行い、施設の適正な維持管理を指導することで、大気環境の保全に取り組みます。また、光化学スモッグによる健康被害の防止を図るため、迅速な予報等の発令を行います。

#### ●工場・事業場排水規制事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】

予算額：(25) 1,769千円 → (26) 1,766千円

事業概要：水質汚濁防止法に規定する特定事業場等を対象に立入検査を実施し、排水基準の遵守状況等に係る監視指導を行うことにより、公共用水域の水質改善を図ります。

●大気テレメータ維持管理事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】

予算額：(25) 93,544千円 → (26) 104,058千円

事業概要：環境総合監視システムにより大気環境基準の達成状況を把握するとともに、排出ガスを多量に発生する固定発生源についてもテレメータシステムにより常時監視を行うことで、大気環境の保全を図ります。また、PM2.5の濃度上昇により健康への影響が懸念される場合、速やかに県民の皆さんに注意喚起を行います。

●河川等公共用水域水質監視事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】

予算額：(25) 36,192千円 → (26) 37,796千円

事業概要：公共用水域及び地下水の水質常時監視を行うほか、伊勢湾に流入する汚濁負荷量(COD、窒素、りん)の総量規制に係る調査等を実施し、河川、海域等の水質保全を図ります。

●自動車NO<sub>x</sub>等対策推進事業【基本事業名：15402 自動車環境対策の推進】

予算額：(25) 11,248千円 → (26) 8,242千円

事業概要：自動車による大気汚染を改善するため、自動車NO<sub>x</sub>等総量削減計画に基づき、窒素酸化物や粒子状物質の排出量削減に向けた調査・取組を進めます。

●浄化槽設置促進事業【基本事業名：15403 生活排水対策の推進】

予算額：(25) 340,563千円 → (26) 244,290千円

事業概要：浄化槽設置者に市町が補助を行う事業及び市町が浄化槽を設置する事業等に対し助成を行い、生活排水処理施設の整備率の向上及び水環境の保全を図ります。

●伊勢湾行動計画推進事業【基本事業名：15404 伊勢湾の再生】

予算額：(25) 4,168千円 → (26) 135,302千円

事業概要：伊勢湾再生推進会議において策定した「伊勢湾再生行動計画」を進めるとともに、「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」をはじめとした海岸漂着物の回収・処理、発生抑制の取組を三県一市の枠組みも活用して実施します。

●環境試験研究管理事業【基本事業名：15405 環境保全のための調査研究の推進】

予算額：(25) 34,771千円 → (26) 113,664千円

事業概要：保健環境研究所において環境保全に係る調査研究を行うとともに、精確かつ迅速な試験、検査を行うため、分析機器の保守点検及び修理、更新を行い、機器の精度維持を図ります。